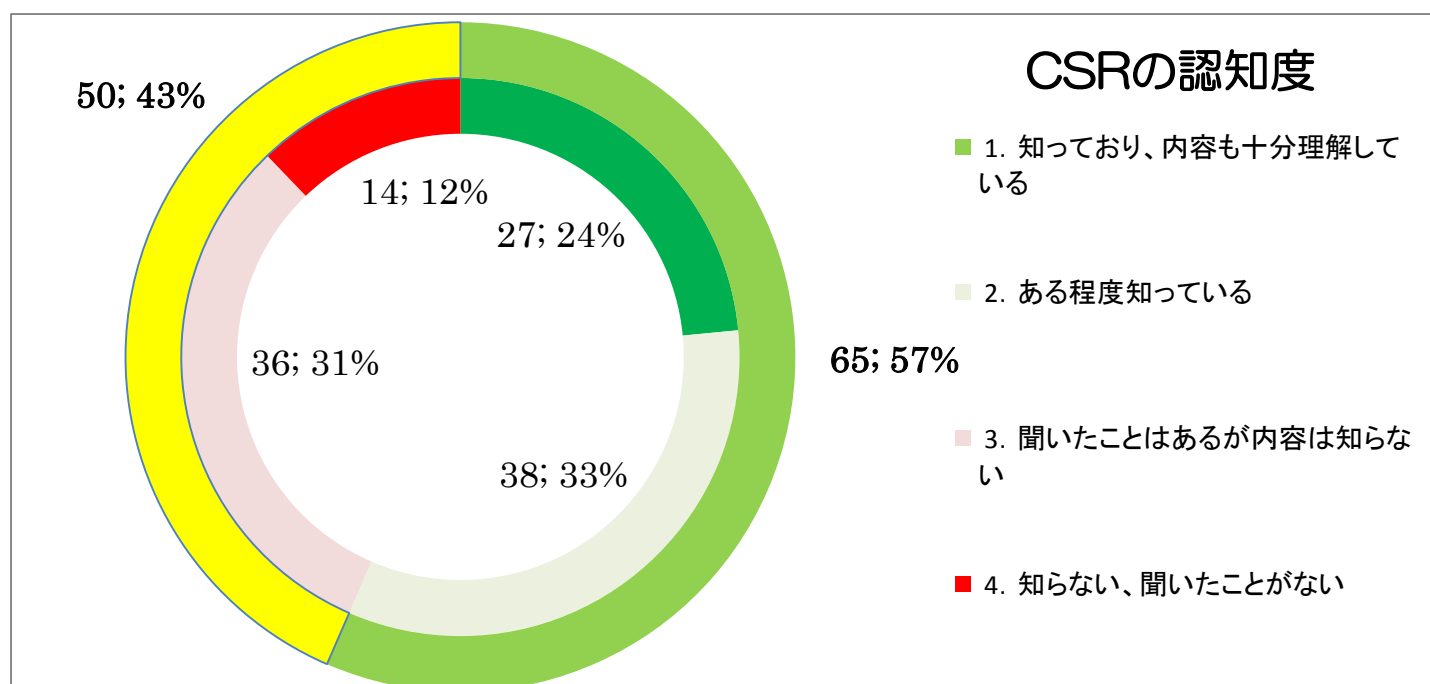


# 岩手県の中小企業の環境報告書に関するアンケート調査結果

2009年8月～9月実施：岩手県中小企業家同友会加盟企業 220社中115社回答（回答率52.3%）

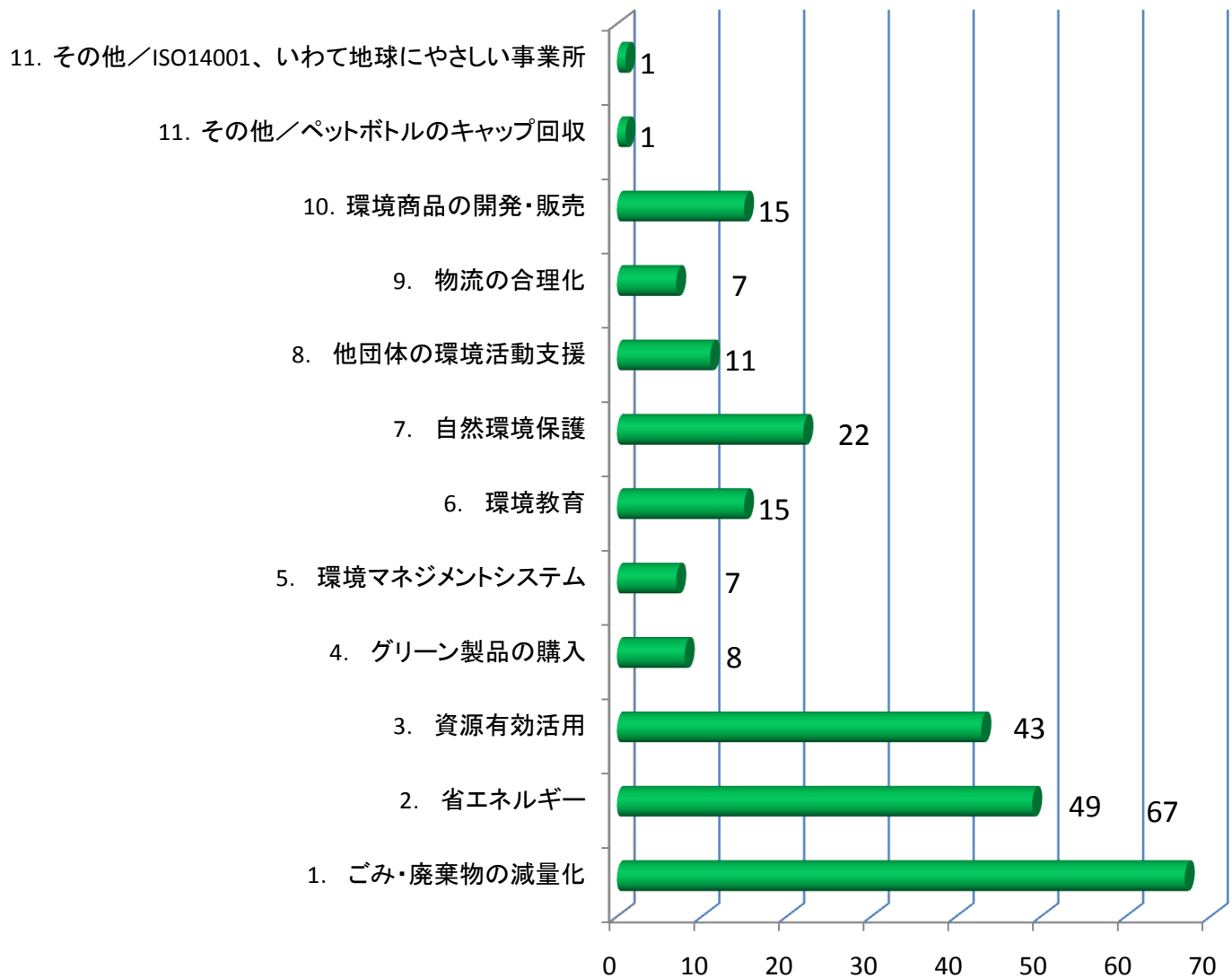
## （環境配慮活動についての質問）

問5 「CSR（企業の社会的責任）」という言葉をご存じですか（1つに○）。	回答数	回答率	回答数	回答率
1. 知っており、内容も十分理解している	27	23.5%	65	56.5%
2. ある程度知っている	38	33.0%		
3. 聞いたことはあるが内容は知らない	36	31.3%	50	43.5%
4. 知らない、聞いたことがない	14	12.2%		
合計	115			

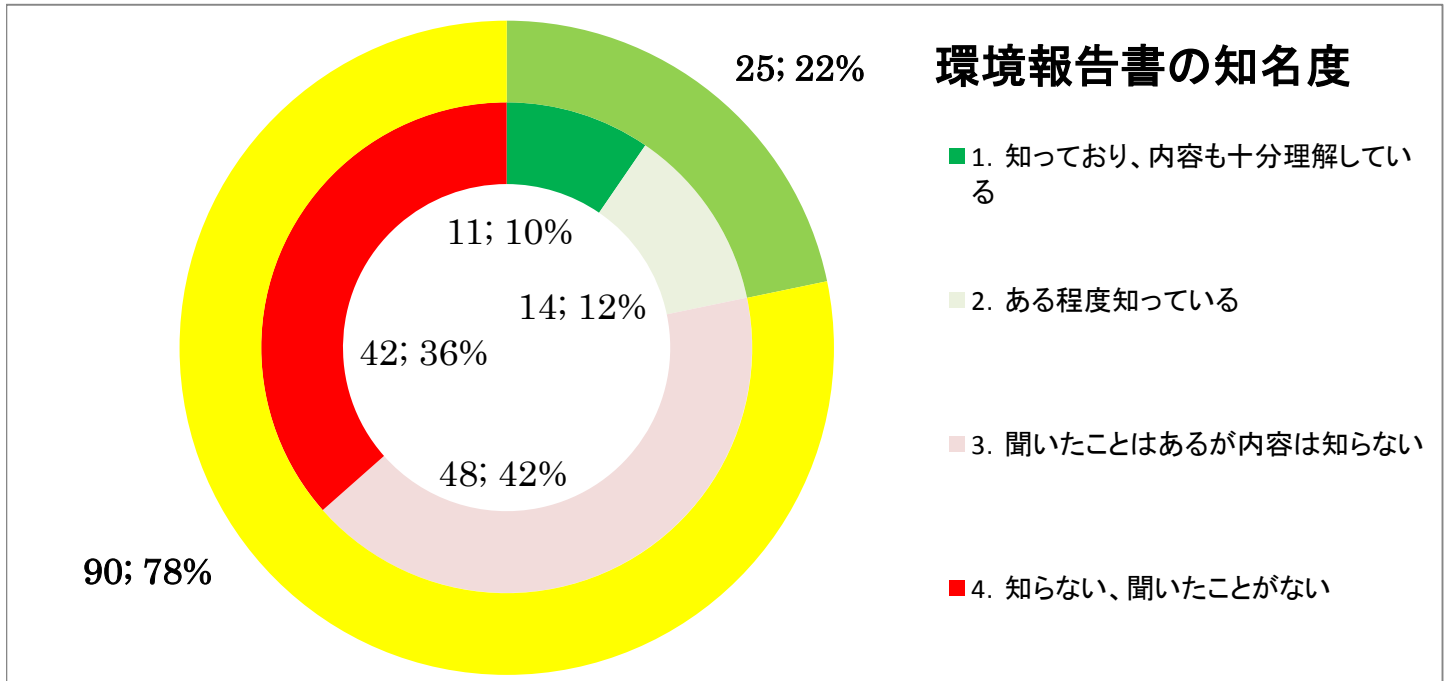


問6 現在取り組んでいる環境保全活動（環境面のCSR活動）は以下のどれですか（該当に○）	回答数	回答率
1. ごみ・廃棄物の減量化	67	27.2%
2. 省エネルギー	49	19.9%
3. 資源有効活用	43	17.5%
4. グリーン製品の購入	8	3.3%
5. 環境マネジメントシステム	7	2.8%
6. 環境教育	15	6.1%
7. 自然環境保護	22	8.9%
8. 他団体の環境活動支援	11	4.5%
9. 物流の合理化	7	2.8%
10. 環境商品の開発・販売	15	6.1%
11. その他／ペットボトルのキャップ回収	1	0.4%
11. その他／ISO14001、いわて地球にやさしい事業所	1	0.4%
合計	246	

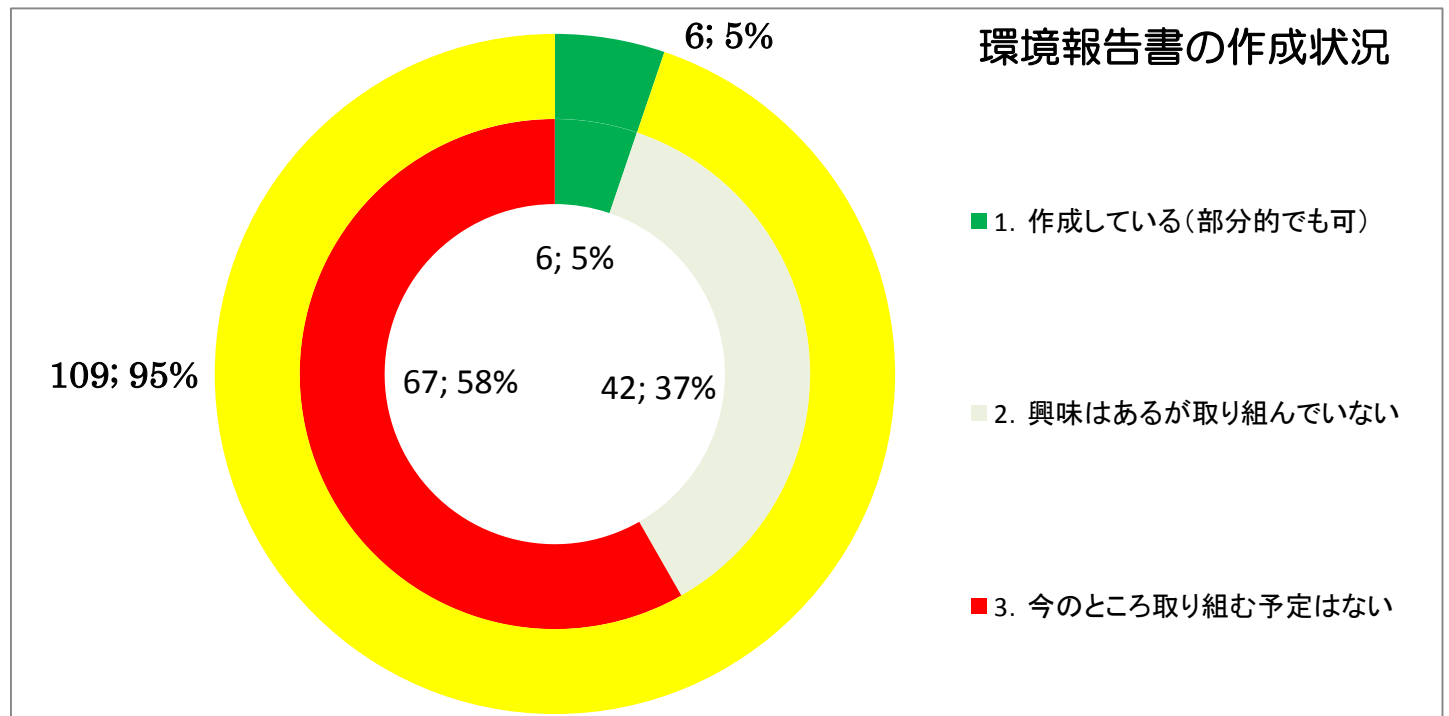
### 現在取り組んでいる環境面のCSR活動



問7 「環境報告書」という言葉をご存じですか（1つに○）。	回答数	回答率	回答数	回答率
1. 知っており、内容も十分理解している	11	9.6%	25	21.7%
2. ある程度知っている	14	12.2%		
3. 聞いたことはあるが内容は知らない	48	41.7%	90	78.3%
4. 知らない、聞いたことがない	42	36.5%		
合計	115			

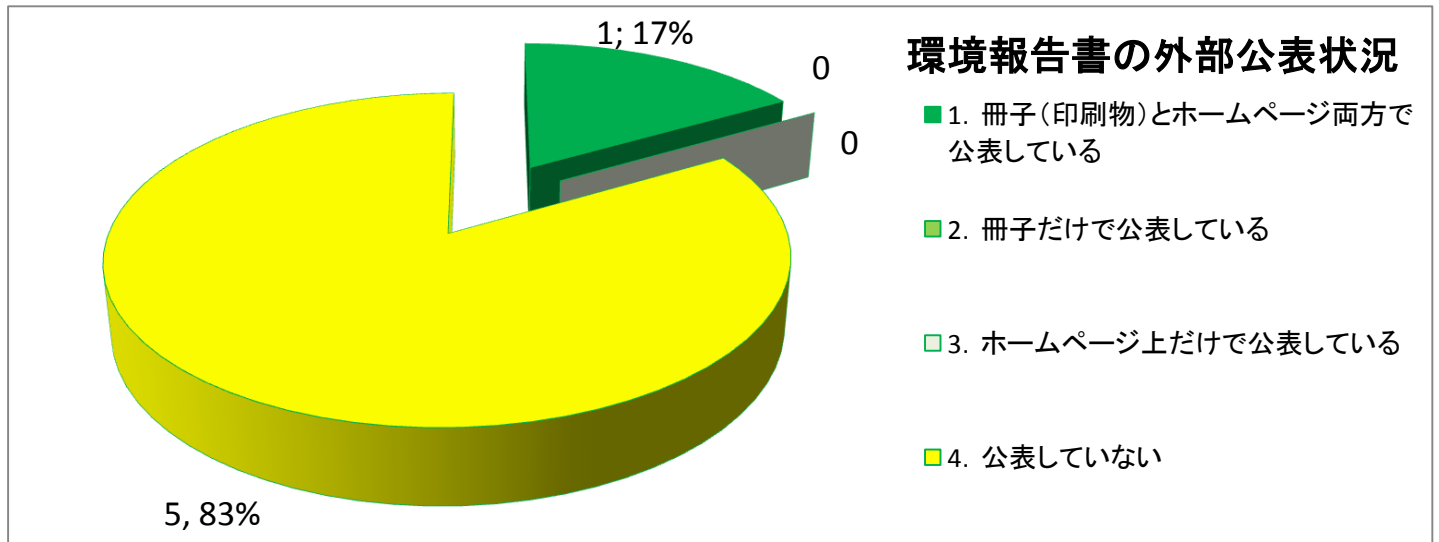


問8 環境報告書を作成していますか（1つに○）。	回答数	回答率	回答数	回答率
1. 作成している（部分的でも可）	6	5.2%	6	5.2%
2. 興味はあるが取り組んでいない	42	36.5%	109	94.8%
3. 今のところ取り組む予定はない	67	58.3%		
合計	115			

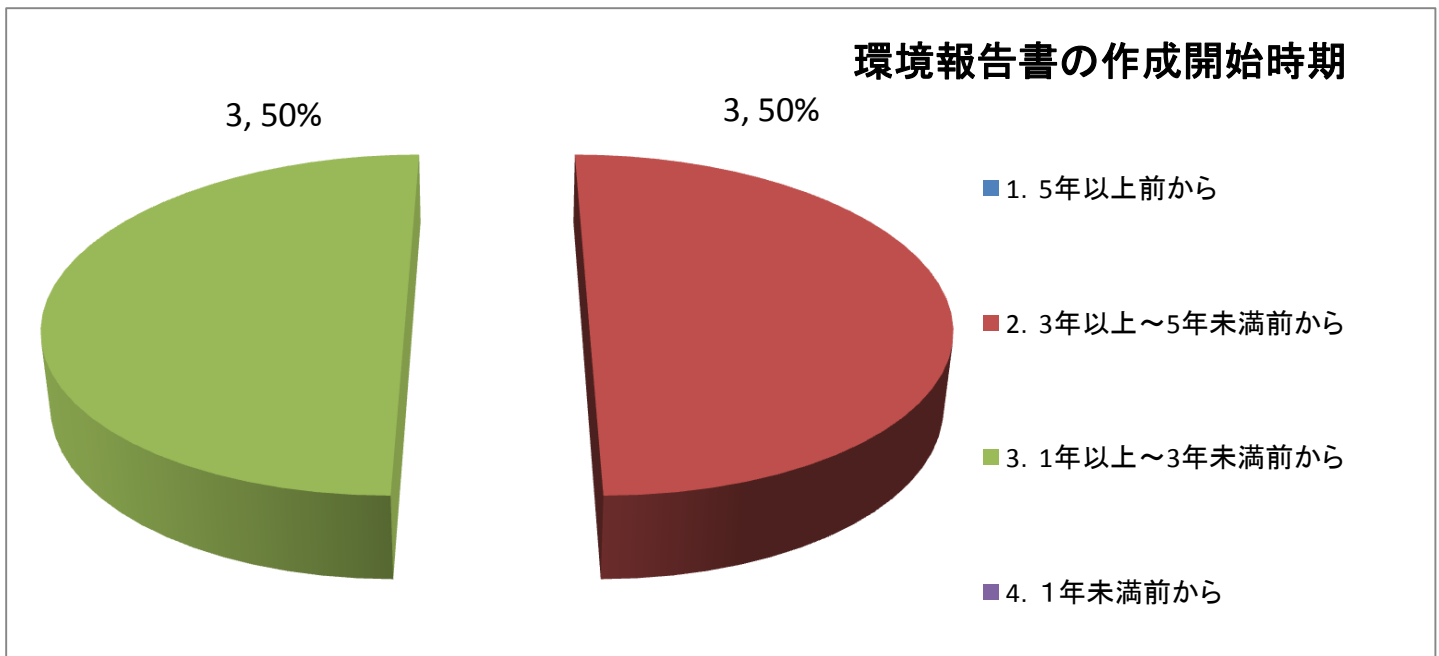


● 問8で「環境報告書を作成している」と回答された企業への質問

問9 環境報告書を外部に公表していますか（1つに○）。	回答数	回答率
1. 冊子（印刷物）とホームページ両方で公表している	1	16.7%
2. 冊子だけで公表している	0	0.0%
3. ホームページ上だけで公表している	0	0.0%
4. 公表していない	5	83.3%
合計	6	

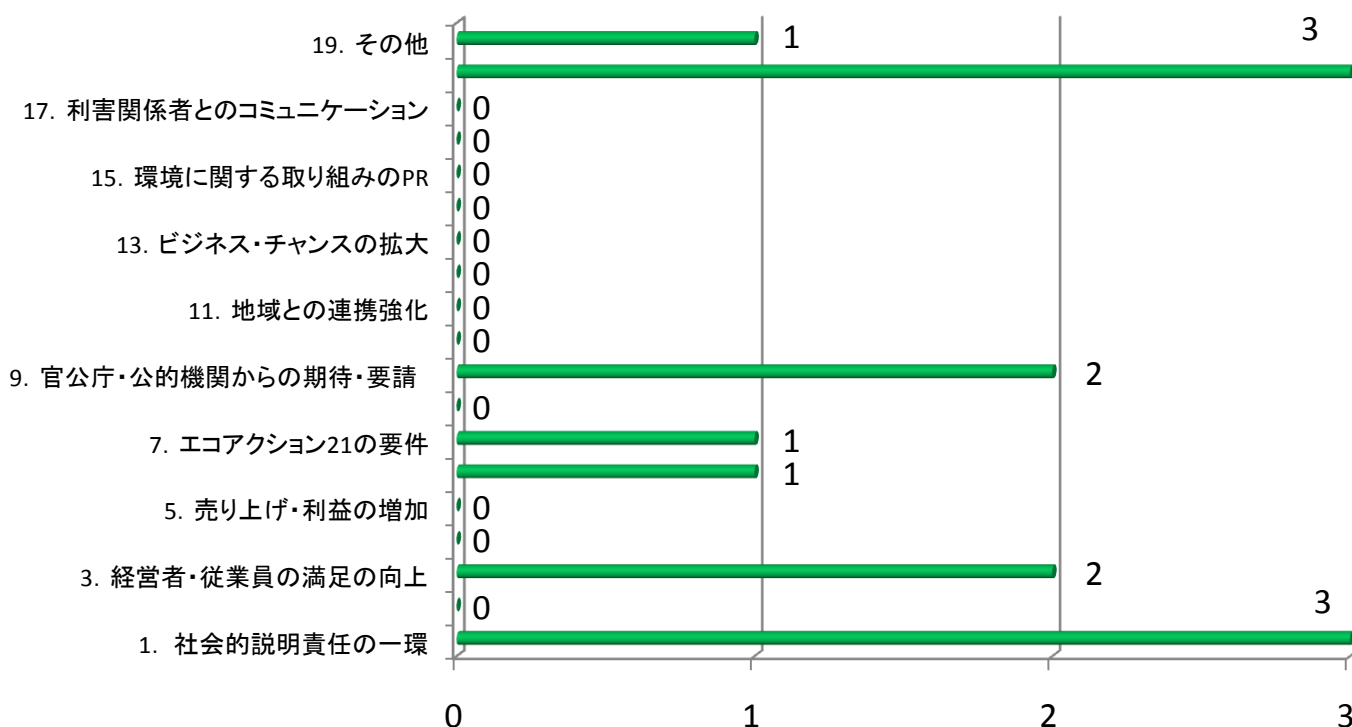


問10 環境報告書の作成を開始した時期はいつごろですか（1つに○）。	回答数	回答率
1. 5年以上前から	0	0.0%
2. 3年以上～5年未満前から	3	50.0%
3. 1年以上～3年未満前から	3	50.0%
4. 1年未満前から	0	0.0%
合計	6	



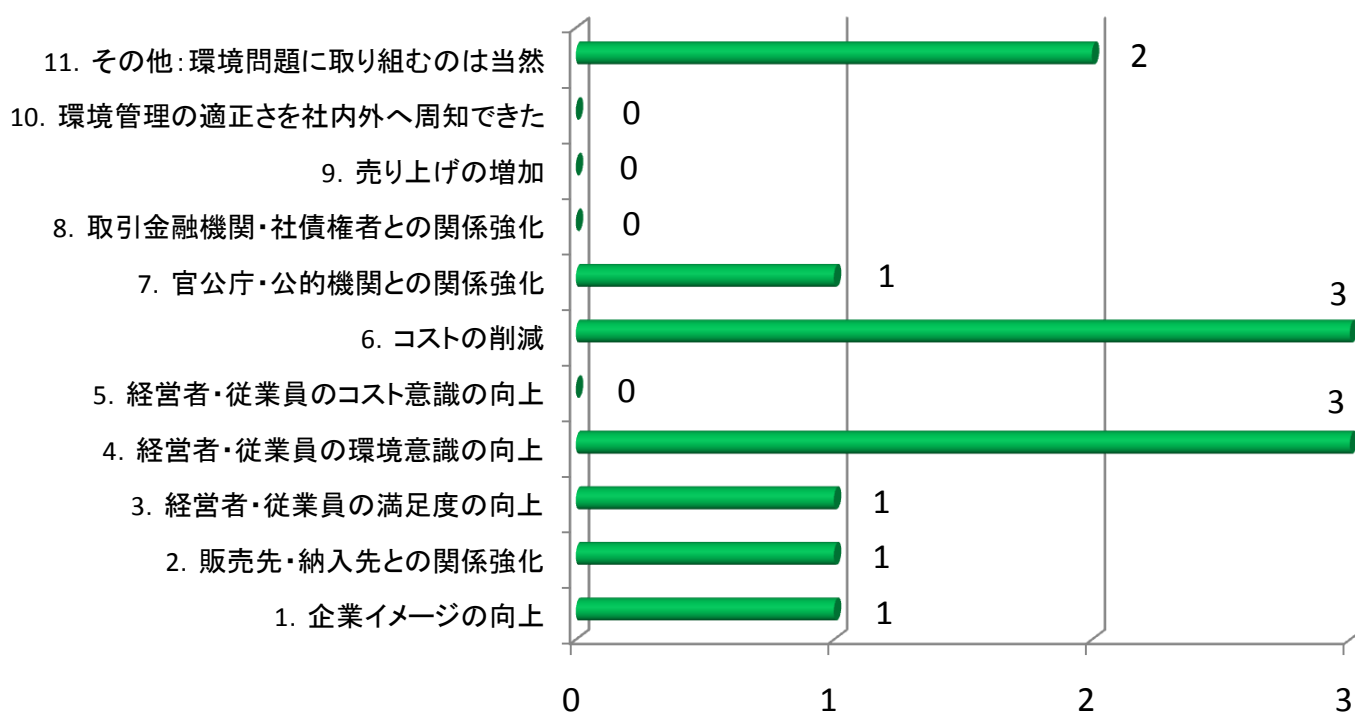
問11 環境報告書を作成する目的・理由は何ですか (3項目以内に○)。	回答数	回答率
1. 社会的説明責任の一環	3	23.1%
2. 企業イメージの向上	0	0.0%
3. 経営者・従業員の満足の向上	2	15.4%
4. 販売先・納入先からの期待・要請	0	0.0%
5. 売り上げ・利益の増加	0	0.0%
6. コスト・経費の削減	1	7.7%
7. エコアクション21の要件	1	7.7%
8. 消費者からの期待・要請	0	0.0%
9. 官公庁・公的機関からの期待・要請	2	15.4%
10. 取引金融機関・社債権者からの期待・要請	0	0.0%
11. 地域との連携強化	0	0.0%
12. 求人面でのプラス評価	0	0.0%
13. ビジネス・チャンスの拡大	0	0.0%
14. 競合する同業企業が取り組んでいるから	0	0.0%
15. 環境に関する取り組みのPR	0	0.0%
16. 公的な支援策（減税、補助金など）の利用	0	0.0%
17. 利害関係者とのコミュニケーション	0	0.0%
18. 環境に関する社員などへの教育	3	23.1%
19. その他	1	7.7%
合計	13	

### 環境報告書の作成目的・理由



問12 環境報告書に取り組んだことによるメリットは何ですか (3項目以内に○)。	回答数	回答率
1. 企業イメージの向上	1	8.3%
2. 販売先・納入先との関係強化	1	8.3%
3. 経営者・従業員の満足度の向上	1	8.3%
4. 経営者・従業員の環境意識の向上	3	25.0%
5. 経営者・従業員のコスト意識の向上	0	0.0%
6. コストの削減	3	25.0%
7. 官公庁・公的機関との関係強化	1	8.3%
8. 取引金融機関・社債権者との関係強化	0	0.0%
9. 売上げの増加	0	0.0%
10. 環境管理の適正さを社内外へ周知できた	0	0.0%
11. その他：環境問題に取り組むのは当然	2	16.7%
合計	12	

## 環境報告書作成のメリット

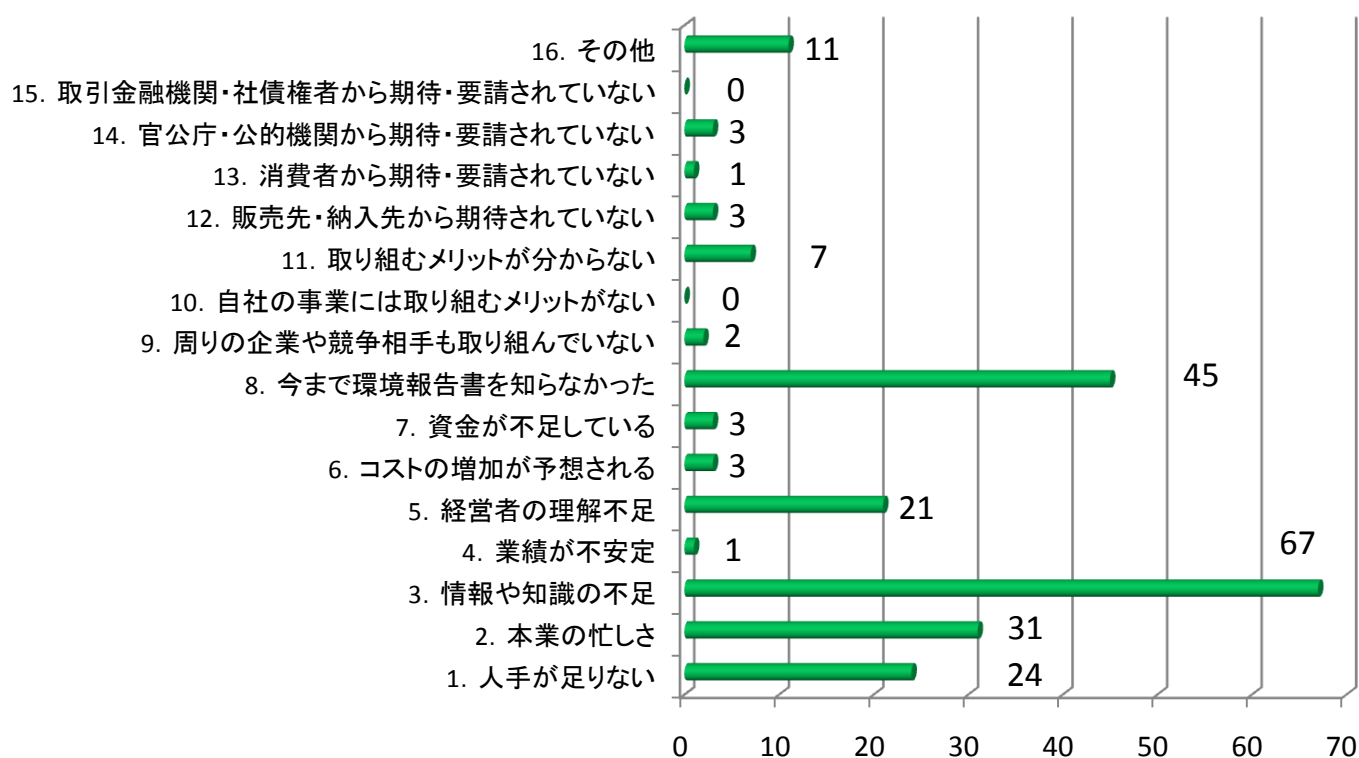


問13 環境報告書に取り組んだことによるデメリットは何ですか (3項目以内に○)	回答数	回答率
1. コストの増加	0	0%
2. 人手の不足	0	0%
3. 経営・事業活動の自由度の低下	0	0%
4. 経営者・従業員の満足度の低下	0	0%
5. 売上げの減少	0	0%
6. その他：デメリットはなかったなど	4	67%
6. その他：労力部分でマイナス・慣れれば通常の業務	2	33%
合計	6	

● 問8で環境報告書の作成に「興味はあるが取り組んでいない」「今のところ取り組み予定はない」と回答された企業への質問

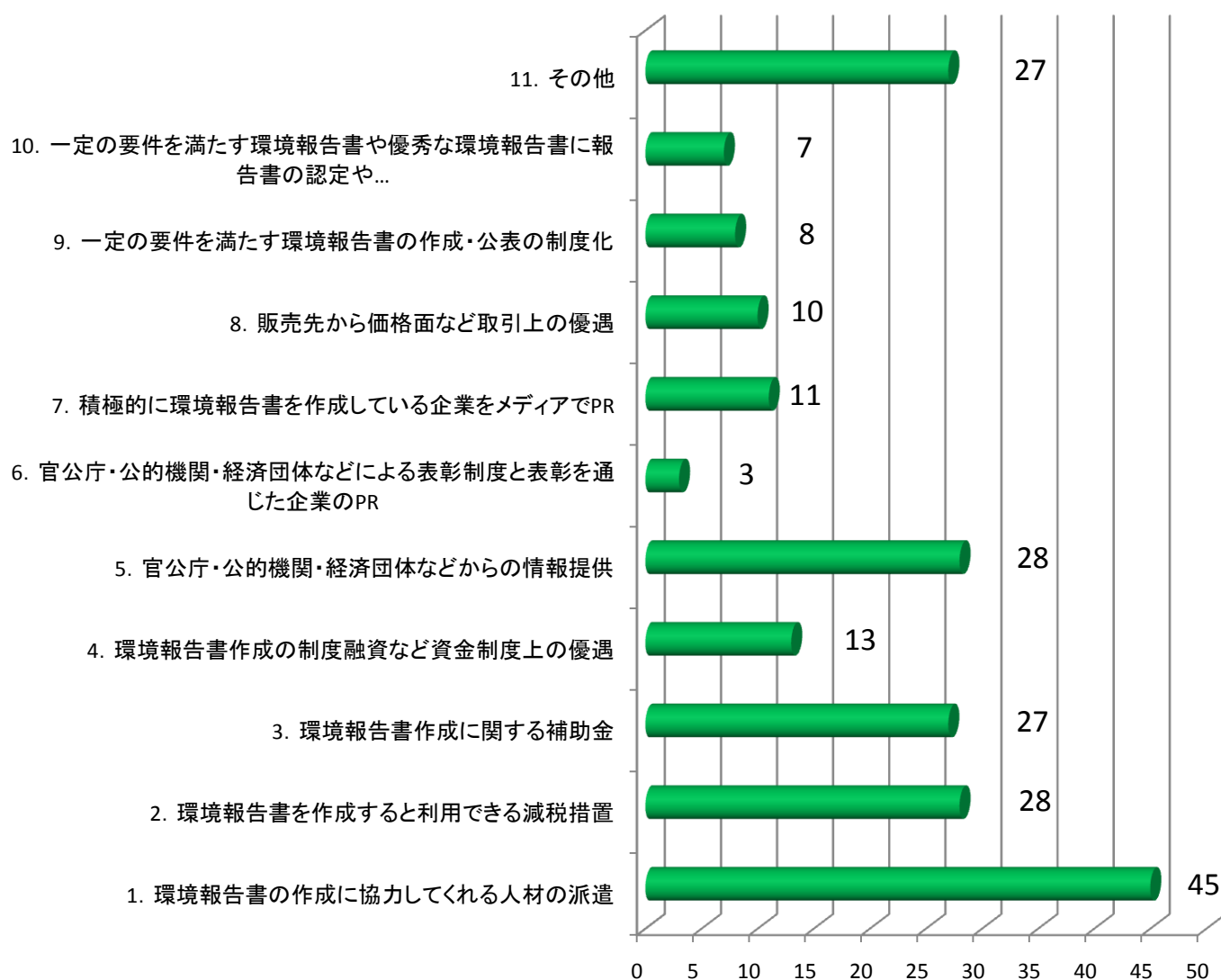
問15 環境報告書作成に取り組めない理由は何ですか (3項目以内に○)。	回答数	回答率
1. 人手が足りない	24	10.8%
2. 本業の忙しさ	31	14.0%
3. 情報や知識の不足	67	30.2%
4. 業績が不安定	1	0.5%
5. 経営者の理解不足	21	9.5%
6. コストの増加が予想される	3	1.4%
7. 資金が不足している	3	1.4%
8. 今まで環境報告書を知らなかった	45	20.3%
9. 周りの企業や競争相手も取り組んでいない	2	0.9%
10. 自社の事業には取り組むメリットがない	0	0.0%
11. 取り組むメリットが分からない	7	3.2%
12. 販売先・納入先から期待されていない	3	1.4%
13. 消費者から期待・要請されていない	1	0.5%
14. 官公庁・公的機関から期待・要請されていない	3	1.4%
15. 取引金融機関・社債権者から期待・要請されていない	0	0.0%
16. その他	11	5.0%
合計	222	

### 環境報告書未作成の理由



問16 環境報告書作成に関してどのような支援策が必要であると考えますか (該当に○)	回答数	回答率
1. 環境報告書の作成に協力してくれる人材の派遣	45	21.7%
2. 環境報告書を作成すると利用できる減税措置	28	13.5%
3. 環境報告書作成に関する補助金	27	13.0%
4. 環境報告書作成の制度融資など資金制度上の優遇	13	6.3%
5. 官公庁・公的機関・経済団体などからの情報提供	28	13.5%
6. 官公庁・公的機関・経済団体などによる表彰制度と表彰を通じた企業のPR	3	1.4%
7. 積極的に環境報告書を作成している企業をメディアでPR	11	5.3%
8. 販売先から価格面など取引上の優遇	10	4.8%
9. 一定の要件を満たす環境報告書の作成・公表の制度化	8	3.9%
10. 一定の要件を満たす環境報告書や優秀な環境報告書に報告書の認定や ロゴマークを付与	7	3.4%
11. その他	27	13.0%
合計	207	

## 環境報告書作成の支援策





問14／問17 岩手大学は大学生が地元中小企業による環境報告書の作成に協力する授業を計画しています。貴社が環境報告書を作成される時に、この取り組みを活用したいとお考えですか（1つに〇）。	問14 回答率	問17 回答率	問14 回答数	問17 回答数
1. 活用したい	0.0%	12.2%	0	14
2. 活用を検討したい	16.7%	19.1%	1	22
3. さらに詳しい話を聞いてから検討したい	33.3%	39.1%	2	45
4. 活用したくない	0.0%	0.0%	0	0
5. よく分からない	50.0%	29.6%	3	34
合計			6	115

(注) 問14には環境報告書を作成している企業、問17には環境報告書を作成していない企業が回答

